

今在家地区(簸川郡斐川町)

～大区画ほ場で地域の活性化と町づくり～



事業地区の概要

事業名：高生産性大区画ほ場整備事業
 受益面積：82.0ha
 工期：H4～H11
 総事業費：2,962百万円
 土地改良区：斐川町町土地改良区

地区の紹介

【事業実施の契機】

本地区は島根県簸川郡斐川町の西北部に位置し、一級河川斐伊川の右岸沿いの水田地帯です。昭和初期に10a区画により整備されていましたが、農地の高度利用と営農労力の削減により農業経営の向上を図ることを目的にほ場整備事業を実施しました。

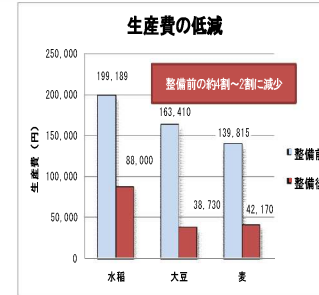
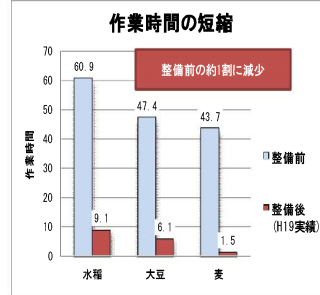
事業の実施により標準区画が2haの大区画が誕生し、用排水路のパイプライン化、耕作道路の整備によって大型機械による生産性の高い営農が確立しました。また、ほ場整備に併せ、農村公園や農村交流施設、農村住宅等の生活環境も整いました。

本事業を契機に「一集落一農業方式」による営農組合が組織され、平成14年には法人化され、「あかつきファーム今在家」が設立されました。

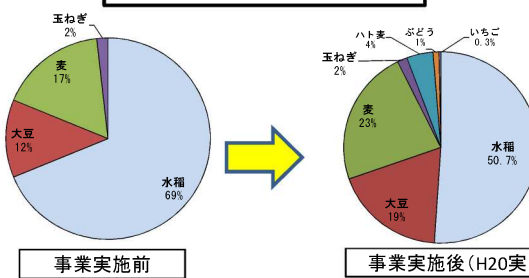
当法人では、ほ場整備によって生み出された余剰労働力を活用し、いちごやぶどうの観光農園を導入するなど経営の多角化を図っているほか、チューリップ祭りを開催するなど地域の活性化にも貢献しています。



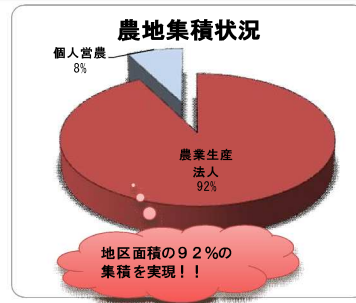
ほ場整備による高生産性農業の実現と農地の高度利用



栽培作物の多様化(作付け面積:h)



担い手への農地集積及び地域の活性化



余剰労働力の活用による経営の多角化

